

メッセージアウトライン

週課	第三年 第八課 第一週
単元	基本的な教理・3
テーマ	洗礼の意味
タイトル	なぜ洗礼を受けるのでしょうか
テキスト	ローマ6:3-11
参照箇所	マタイ28:18-20、使徒2:37-41、ローマ10:10、Iペテロ2:24、Iペテロ3:21、ローマ6:3-11、使徒8:38
暗唱聖句	ローマ6:11 or マタイ28:19

導入	洗礼式を見たことがありますか。教会の中での一番のお祝いです。わざわざ遠くからお友達が来たり、おめでとうと言ってもらえます。今回はなぜ洗礼を受けるのかについて考えてみましょう。
----	---

I	<p>洗礼は悪い自分のお葬式です</p> <p>A. 私たちの心の中には神様の願わない心(罪)があります</p> <p>B. イエス様は私たちの罪の身代わりになって死んでくださいました</p> <p>C. 洗礼を受けることは、イエス様と一緒に悪い自分が死んでしまうのです</p>
---	--



II	<p>洗礼はイエス様といっしょによみがえる誕生日です</p> <p>A. イエス様は十字架で死んでよみがえられました</p> <p>B. 洗礼を受けるということは、イエス様と一緒に新しい生き方がはじまることです。</p> <p>C.</p>
----	---



III	<p>洗礼を受けることはイエス様の望んでおられることです</p> <p>A. イエス様は洗礼を受けるようにすすめられました</p> <p>B. イエス様はご自分が洗礼を受け模範を示されました</p> <p>C. お弟子さんたちもイエス様の言われたとおりに洗礼を受けました</p>
-----	--



結論	イエス様を信じたら、洗礼を受けられるようにお祈りをしましょう。イエス様の喜ばれることをしていきましょう。
----	---

適用	<p>あなたはイエス様を信じていますか。イエス様はあなたのために十字架にかかれ、死んでよみがえられたのです。それはあなたの罪を赦し、あなたが素晴らしい人生を送ることができるためなのです。</p> <p>1. 洗礼は、罪のお葬式であり、イエス様と一緒に生きる誕生日のようなものです。</p> <p>2. イエス様はあなたを愛しておられるので、あなたが洗礼を受けて、イエス様と一緒に生きることができることを願っています。(注: 洗礼は誰もが受けることが出来ませんが、教会によってしっかりと信仰告白ができる年齢まで、待つようにと指導される場合もあります)。洗礼が受けられるようにお祈りをしましょう。もしすでに洗礼を受けたお友達は、受けていないお友達に、洗礼の素晴らしさを伝えてあげましょう。そしてイエス様のお弟子として、イエス様の喜ばれることをしていきましょう。</p>
----	--



備考	
----	--

メッセージアウトライン

週課	第三年 第八課 第二週
単元	基本的な教理・3
テーマ	聖化
タイトル	こころってきれいになるの
テキスト	IIコリント3:16-18
参照箇所	Iヨハネ1:9、ガラテヤ5:16、ガラテヤ5:22-23、ヨハネ16:8、Iテサロニケ4:3-4、Iペテロ1:16
暗唱聖句	Iヨハネ1:9 or IIコリント3:18 or Iテサロニケ4:3

導入	私たちは、どんな人が好きですか。意地悪な人ですか。やさしい人ですか。イエス様は、どんな人を喜ばれるでしょう。イエス様を信じたならば、私たちの心はどうなるのでしょうか。
I	<p>神様は私たちのこころをきれいにしたいと考えておられます</p> <p>A. 神さまは完全に聖いお方です</p> <p>B. 神さまは私たちが聖くなることを望んでおられます</p> <p>C. 神様のことを考えると自分の中の悪いところがわかります</p>
II	<p>どうしたらきれいになるのでしょうか</p> <p>A. 神さまはイエス様を私たちに与えてくださいました</p> <p>B. イエス様の血の力で(悪い心が出たら、ごめんなさいとお祈りすることで)きれいになります。Iヨハネ1:7-9</p> <p>C. 人間の努力ではなく聖霊の働きです。IIコリント3:18、ヨハネ16:8</p>
III	<p>どのように変えられていくのですか？</p> <p>A. 救われることによって始まります</p> <p>B. 少しずつ変えられていきます</p> <p>C. イエスさまのように変えられていきます</p>
結論	イエス様にお祈りをして、毎日少しずつ、きれいなこころに変えられていきましょう
適用	<p>1. イエス様はどんな人が好きですか。(考えてみましょう?)信仰はイエス様を信じて終わりではありません。信じた後にこころがきれいになると、神様のプレゼント(祝福)がたくさん受け取れる人になれるのです。12弟子のヨハネさんは、雷の人(すぐに怒る人)と呼ばれていましたが、年をとってからは愛の人と呼ばれるようになりました。</p> <p>2. 毎日聖書を読み、お祈りをしましょう。そうすれば、毎日少しずつ、心がきれいになっていきます。自分でがんばるのではありません。心を変えるのは神様の力です。</p> <p>3. あなたの心がきれいになれば、いろいろなものごと上手くなります。イエス様にこころをきれいにしてもらって、神様のプレゼント(祝福)がたくさん受け取れる人になりましょう。</p>
備考	



メッセージアウトライン

週課	第三年 第八課 第三週
単元	基本的な教理・3
テーマ	いやし
タイトル	いやしは今も起きるのでしょうか
テキスト	マルコ10:46-52
参照箇所	出エジプト15:26、マタイ4:23、マタイ9:35、1ペテロ2:24、使徒3:16、ヤコブ5:14-16
暗唱聖句	マタイ8:17 or マルコ16:18b
導入	病気になったら、どうしますか。神様はいろいろな方法でいやしをされます(自然、愛情、お医者さんと薬)みなさんは神様にお祈りすると病気がいやされると知っていますか?
I	バルテマイはどのような人ですか? A. バルテマイは目が見えませんでした B. 神様にお願いするしか方法がありませんでした C. バルテマイは、イエス様を「神様の子」と信じていました
II	バルテマイはどのようにイエス様にお願いをしましたか? A. バルテマイはイエス様に呼び求めました。マルコ10:47 B. バルテマイはあきらめずに願い求めました。マルコ10:48 C. バルテマイは自分の願いをはっきりイエス様に訴えました。マルコ10:51
III	いやされたバルテマイの信仰とはどんな信仰だったでしょうか A. バルテマイはイエス様がいやしてくださると固く信じました B. バルテマイは上着を脱ぎ捨てイエス様のところに来ました C. バルテマイはいやされた後イエスさまについていきました
結論	病気になったら、救い主イエス様がいやしてくださると固く信じてお祈りしよう。いやされたらまずまず感謝してイエス様についていこう。
適用	1. 病気になった時、みんなはどうしますか? 神様はこの世界を造り、私たちが造られたから、最高のお医者さんです(出エジプト15:26)。そして、神の子イエス様も病気をいやしてください。(マタイ8:17、1ペテロ2:24)またイエス様を信じたお弟子さんたちもお祈りするとイエス様の力で病気がいやされました(マルコ16:18)。だから、イエス様を信じる「ぼくたちわたしたち」がお祈りすると、イエス様は病気をいやしてくださるのです。 2. 世界中で、イエス様の名前でお祈りすると、たくさんの病気がいやされています。日本でも、私たちの回りでも祈っていやされることはたくさん起きています(お友達や先生に聞いてみましょう)。神様は、お医者さんや薬を使って病気を治すこともされますが、お祈りすることで病気をいやされることもたくさんあります。だからもし自分やお友達が病気になったら、まず最初に神様を信じてお祈りしましょう。神様はかならず素晴らしいことをしてくださいます。
備考	



メッセージアウトライン

週課	第三年 第八課 第四週
単元	基本的教理・3
テーマ	礼拝
タイトル	礼拝とは何でしょうか
テキスト	ローマ12:1-2
参照箇所	創世記1:27、ヨハネ1:12、ヨハネ4:22-26、ローマ1:21、ローマ8:15、ローマ12:1-2、ヘブル13:15-16
暗唱聖句	ローマ12:1b or ヨハネ4:24

導入	学校に行った時、あなたのことが大好きなお友達が、喜んで待っていてくれたら、うれしいですね。神様はあなたのことをその様に、いつも見ておられます。礼拝の時や毎日の生活で、神様とどのようにお祈りし、お交わりしたらよいかを考えてみましょう。
----	--

I	<p>日曜日どのような気持ちで教会にくることを、神様は喜ばれるのでしょうか？</p> <p>A. 神様は、神様が大好きな人を喜ばれます</p> <p>B. 日曜日いろいろなことがあっても、神様を一番に大切にしてお祈りに来る人を喜ばれます</p> <p>C.</p>
---	--



II	<p>神様への賛美はどのようにしたらよいのですか</p> <p>A. 心から喜んで歌うことを、神様は喜ばれます</p> <p>B. きれいなところでささげる、いけにえを喜んでくださいます</p> <p>C. たとえ気持ちがついていかなくても、精一杯捧げる賛美を喜ばれます</p>
----	---



III	<p>毎日の生活で、神様にどのような賛美や礼拝をすることが喜ばれるのでしょうか</p> <p>A. 毎日心からの賛美や礼拝をすることです(神様はいつも私たちの心を見ておられるので)</p> <p>B. どんな小さなことでも、毎日お祈りすることです(神様はいつも助けようとされているので)</p> <p>C. 毎日神様のことを考えて、良いことを選ぶことです</p>
-----	---



結論	礼拝とは神様との交わりです。毎日神様に心からの礼拝を捧げ、良いことを選びましょう。
----	---

適用	<p>1. お父さんやお母さんが子供と話しをするように、天の神様はわたしたちを子供として交わりを持つようにつくられました。ですから神様はわたしたち一人一人と毎日交わりを持つことを願っておられます。日曜の礼拝は皆が集まる日ですから、神様は特別な恵みを準備してくださっています。期待して礼拝に来ましょう。</p> <p>2. また賛美も早く歌を覚えてしまいましょう。そして神様が聞いていらっしゃると思いながら、口先ではなく心から歌うならば神様が喜ばれる素晴らしい賛美になります。</p> <p>3. 毎日神様とお祈りすることがまだ良く分らないお友達がいたら、神様とお祈りし続ける素晴らしさ、祈りを聞いてもらえたお証などを話してあげましょう。また、まだディボーションをしていないお友達は、これをきっかけにはじめてみましょう。きっと素晴らしい神様との出会いがあることでしょう。</p>
----	--



備考	
----	--

メッセージアウトライン

週課	第三年 第八課 第五週
単元	基本的な教理・3
テーマ	再臨
タイトル	再臨とは何でしょうか
テキスト	マタイ24:3-14
参照箇所	使徒1:11、ヘブル9:28、マタイ24:3-14、マタイ25:31-46、マルコ13:32、Iテサロニケ4:13-17、5:1-11
暗唱聖句	ヨハネ14:3

導入 約束を守ってくれない人は時々いますが、イエス様は必ず約束を守ってくださる方です。イエス様は、お弟子さんたちに、世の終わりにもう一度来られること(再臨)を約束されました。

I イエス様が再び来られるのは聖書の約束です

- A. イエスさまが約束されました
- B. イエスさまの弟子たちもその約束を信じ伝えました
- C. イエスさまはご自身を信じる人々を迎えに来てくださいます



II イエスさまが来られる前にはいろいろなことが起こります

- A. にせキリストやにせ預言者が現われて、多くの人が混乱します
- B. 戦争やききんや地震がおこります
- C. 最後には世界中にイエス様のことが伝えられます



III 私たちはどうしたらよいのですか？

- A. イエスさまはいつ来られるか神様のほか誰にもわかりません
- B. イエスさまがいつ来られても良いように神様に喜ばれる生活を心がけましょう
- C. イエス様を信じて待ち望みましょう



結論 イエス様は約束どおり必ず帰って来られます。楽しみにしましょう。

- 適用**
- イエス様は必ず約束を守ってくださる方です。イエス様は、場所を備えたらもう一度来る(再臨する)と約束されました(ヨハネ14:1-3)。イエス様を信じていればかならず天国に入ることができます。ですからイエス様を信じ続けることが神様の願いです。もし、まだ家族やお友達でイエス様を信じていない人がいたら、イエス様のことをお話しあげましょう。
 - 再臨は花婿であるイエスさまとの結婚式と聖書ではたとえられてます。特に花嫁は結婚式のために楽しみに準備しますよね。私たちもいつでもイエス様とお会いできるように準備して歩みましょう。



備考